

令和5年5月28日

まちづくり活動計画書

1 助成を受けようとするまちづくり活動について

団 体 名	BLUE BASE
まちづくり 活 動 名	BLUE BASE
活 動 地 域	名古屋市各所
活 動 の 背 景	<p>（団体の立上げのきっかけや活動に至る背景をアピールしてください。） より住みやすいまちをつくるためには、多様な人が関わり意見を出し合うことが必要と考える。名古屋市の区政協力委員会の78%は60代以上、50代以下がまちの運営に興味を持って関わるためのきっかけづくりと、地縁組織に関わりたいたいと思った人のための入口が必要と感じた。 50代以下が地縁組織と上手に関わって活動するための基礎知識を学び、情報共有をする場所、またお互いを励まし合う第三の居場所があると良いと思い団体を結成した。</p>
目的・目標	<p>（活動の目的と、活動により実現したい目標及び成果を具体的かつ簡潔にご記入ください）</p> <p>■目的 どの世代でも、どんな人でも暮らしやすく柔軟に進化するまちをつくっていく。 そこに関わろうとする「まちの担い手」を増やす、応援する。</p> <p>■目標 名古屋市を、より多様な人が地縁組織と関わりながらまちづくりを行う都市にする。 今年度末のメンバー数100人を目標に、地域の担い手を育成していく。</p> <p>■成果 若い世代が地縁組織と関わるための入口をつくること BLUE BASEメンバーが地縁組織の役員となること より多くの人が足元のまちとまちづくりに目を向け、一步を踏み出すこと</p> <p>■昨年度の反省を踏まえて 月1回のミーティングやゴミ拾いは続けながら、HPやSNS上での発信に力を入れていきたいと考えます。 実際に活動していると、子ども会やPTA、町内会活動など、身近なところで、運営方法に悩んでいる人はたくさん居ます。そういった方にもヒントが伝えられるよう、ミーティング内容の共有などに力を入れていきたいと思います。</p>
活 動 内 容	<p>（上記の目的、目標に沿って、活動内容や実施方法を、具体的かつ簡潔にご記入ください。）</p> <p>（1）毎月第2日曜日 7:30～：ゴミ拾いと交流会 （2）毎月第4金曜日 21:30～：オンライン勉強会 （3）外部講師によるグレードアップした特別勉強会の実施 （4）改修したホームページやSNSを使用した情報交換 （5）改修したホームページやSNSを使用した、活動をした人與人手不足の団体とのマッチング （6）改修したホームページやSNSを使用した、担い手のための情報発信 （7）中日新聞と協力した新しい地域向けメディアの発信 （8）その他、目的を達成するために必要な活動</p>

活動予定期	令和5年 6月 ～ 6年 2月	
助成金交付申請額	100,000 円	※1 回目（上限 5 万円） ※2 回目、3 回目（上限 10 万円）

2 まちづくり活動の視点

以下の視点で活動内容についてご記入ください。

審査基準① 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に根ざしたまちづくり活動内容か ・自分たちの住んでいる地域を住みよい環境にする活動か ・活動の実施にあたって、まちづくり活動助成金が必要な活動か ・活動メンバーのみの趣味や仲間づくりではなく、多くの人に理解や共感が得られる活動か
<p>(活動の必要性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <p>・団体メンバーは、団体内で学んだことを地域の地域に持ち帰り、力を発揮する。</p> <p>・団体交流のための清掃活動やオンラインミーティング、SNS、HP 運用、広報活動の必要性を感じており、助成金を活動資金に充てたい。</p>	
審査基準② 実現性	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容が具体的になっているか ・活動内容の資金計画などは妥当か ・人員や規模などは妥当か
<p>(活動の実現性について、上記観点から分かりやすくご記入下さい。)</p> <p>活動は一昨年から継続して行っており、以下のことが成果として出ています</p> <p>①BLUE BASE メンバーが地縁組織の役員となること …来年度、中川区にて町内会長、西区にて子ども会学区会長、昭和区にて PTA 役員となるなど、地縁組織との関わりに目を向けて活動するメンバーが増えた</p> <p>②若い世代が地縁組織と関わるための入口をつくること …BLUE BASE メンバーに加入することで、地縁組織との関わりを持ち始める人が増えたメンバー（9 名程度→現在 28 名） …メンバーが各地で地縁組織と一緒に活動することで、それぞれの地域で地縁組織と一緒に活動する人が増えた (中川区おやじの会の地元マルシェ出店、西区音楽祭の地域との関わり、西区にて子どもの見守り活動開始、西区にて駄菓子屋さん開催、西区にて地縁組織と繋がるグループの結成など)</p> <p>③より多くの方が足元のまちとまちづくりに目を向け、一步を踏み出すこと …メンバーの約半数は、「地域のために何かしたいけどどうしていいかわからない」と参加している人たちです。ミーティングに参加しながら学ぶことで、自分でできることを見つけたり、勇気をもって踏み出す準備をしたりしています。</p>	
審査基準③ 発展性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動の発展にむけての視点や計画があるか ・活動実施後に、地域のまちづくり活動にどのような波及効果を及ぼせるか
<p>(活動の発展性について、上記観点から分かりやすくご記入ください。)</p> <p>私たちが大切にしていることは、1. 継続性、2. 任意参加、3. アーカイブ配信、4. 相互コミュニケーション、5. SNS やホームページでの情報発信です。 これらを通じて、担い手のための「第三の居場所づくり」が実現していき、結果としてメンバーが増え、上記「実現性」のような成果を出すことができたと考えています。</p>	

また、昨年度はホームページへの検索から、愛知県公民館連合会西尾張支部からの講演依頼があり、担い手として役場の皆さまに意見を伝えることができました。メンバーの紹介による企業とのコラボレーションも実現に向かい、今年度6月に始動予定です。

今年度の助成に関しては、ホームページを更に充実させ、メンバー同士や外部への情報発信を強化し、担い手を増やすことに繋げていきたいと考えます。昨年度、個人で負担していた外部講師による勉強会も、助成金を使用させていただくことで更に内容の濃いものが年に4回できればと考えます。

- 3 活動にあたり他団体（町内会、自治会他）、企業、行政の部署など協力する又は調整を図る必要がある場合には、その名称と内容を記入してください。既に連絡等を取っている場合にはその日付も記入してください。

名 称	内 容
町内会、区政協力委員会、コミュニティサポーター、各区役所、児童館、女性会、市民活動推進センター、防災ボランティア、社会福祉協議会、自立支援協議会、ボランティア連絡協議会	既に各自治会にて連携を進めている 具体的な例でいうと、西区にてコミュニティサポーターさんを通して、区内の有志が集い、西区役所地域力推進室や社会福祉協議会と連携して、地域助け合いおよび情報共有のグループをつくる活動を行っている
中日新聞	提携して新しい媒体をつくる計画が進行中です（R5年6月より始動予定）

※第2号様式は3ページ以内でご記入ください。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

まちづくり活動の実施スケジュール

・活動の実施日だけでなく、それに向けた準備（団体の打合せ、広報）についても具体的に記入してください。

・1ページにおさまるように記入してください。

年	月	活動項目	活動内容
2023	4	・ゴミ拾い&交流会 ・オンライン勉強会	(1) 毎月第2日曜日 7:30～：ゴミ拾いと交流会 (2) 毎月第4金曜日 21:30～：オンライン勉強会
	5	・ゴミ拾い&交流会 ・オンライン勉強会	(1) 毎月第2日曜日 7:30～：ゴミ拾いと交流会 (2) 毎月第4金曜日 21:30～：オンライン勉強会
	6	・ゴミ拾い&交流会 ・オンライン勉強会 ・ホームページ改修開始	(1) 毎月第2日曜日 7:30～：ゴミ拾いと交流会 (2) 毎月第4金曜日 21:30～：オンライン勉強会 (3) ホームページ改善計画始動、打ち合わせ
	7	・ゴミ拾い&交流会 ・オンライン特別勉強会	(1) 毎月第2日曜日 7:30～：ゴミ拾いと交流会 (2) 毎月第4金曜日 21:30～：外部講師によるオンライン特別勉強会
	8	・ゴミ拾い&交流会 ・オンライン勉強会	(1) 毎月第2日曜日 7:30～：ゴミ拾いと交流会 (2) 毎月第4金曜日 21:30～：オンライン勉強会
	9	・ゴミ拾い&交流会 ・オンライン特別勉強会	(1) 毎月第2日曜日 7:30～：ゴミ拾いと交流会 (2) 毎月第4金曜日 21:30～：外部講師によるオンライン特別勉強会
	10	・ゴミ拾い&交流会 ・オンライン勉強会	(1) 毎月第2日曜日 7:30～：ゴミ拾いと交流会 (2) 毎月第4金曜日 21:30～：オンライン勉強会
	11	・ゴミ拾い&交流会 ・オンライン特別勉強会	(1) 毎月第2日曜日 7:30～：ゴミ拾いと交流会 (2) 毎月第4金曜日 21:30～：外部講師によるオンライン特別勉強会
	12	・ゴミ拾い&交流会 ・オンライン勉強会 ・ホームページ改修完了予定	(1) 毎月第2日曜日 7:30～：ゴミ拾いと交流会 (2) 毎月第4金曜日 21:30～：オンライン勉強会 (3) ホームページ改善完了
2024	1	・ゴミ拾い&交流会 ・オンライン特別勉強会	(1) 毎月第2日曜日 7:30～：ゴミ拾いと交流会 (2) 毎月第4金曜日 21:30～：外部講師によるオンライン特別勉強会
	2	・活動発表会 ・ゴミ拾い&交流会	(1) 毎月第2日曜日 7:30～：ゴミ拾いと交流会 (2) 活動発表会にて1年間それぞれで取り組んできた活動を報告する
	3	・ゴミ拾い&交流会 ・オンライン勉強会	(1) 毎月第2日曜日 7:30～：ゴミ拾いと交流会 (2) 毎月第4金曜日 21:30～：オンライン勉強会

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

まちづくり活動の予算書

1 支出

計画書の活動における支出（予算）をご記入ください。

	費目 手引きの費目を参照	活動項目	内訳・算出根拠	金額 (円)
まちづくり活動助成金（申請金額） ※活動経費の内、助成対象となる経費が対象です。 ※上限金額：1回目は5万円、2回目、3回目は10万円				100,000円
活動経費の内訳	広告費	広報費/ 広報活動	ホームページリニューアル費用 R4年度に改修したHPは、若い世代がアクセスしやすくするためにトップページとデザインを大幅変更したものであった。 現在トップページのみで止まっている部分の下層ページを充実させたいと考えます 具体的には、所属する約30団体の紹介を行い、検索機能で相互を繋がりやすくするものや、勉強会議事録などを閲覧できるページ、代表の想いのページなどです。 団体1ページ2,000円×30団体 =60,000円 活動内容ページ10,000円 代表の想いのページ10,000円 ※既にデザインが決まっているホームページの1ページ作成費用は5,000～15,000円 <small>参考：ホームページ1ページの制作費用の料金と相場についてお答えします https://bties.co.jp/homepagenopro/cost/hp1page.html</small>	80,000円
	謝金	勉強会における外部講師謝礼	5,000円×4回 昨年度は自費にて2回外部講師を依頼していたが、目指す方向が定まり明確になってきたため、助成金を使用して4回の外部講師を依頼したいと考えています。 予定している外部講師：①長久手市まちづくり協議会関連、②助成金の申請方法と使用について、③『孤独と居場所の社会学』著者など	20,000円
支出合計				100,000円

※1ページにおさまるよう記入してください。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。